



# 2024年9月期第3四半期 決算説明資料

株式会社インバウンドプラットフォーム（東証グロース：5587） | 2024年8月14日

# 目次

- ① FY2024.09 3Q業績ハイライト
- ② FY2024.09 3Q決算概要
- ③ FY2024.09 業績予想および今後の取組み

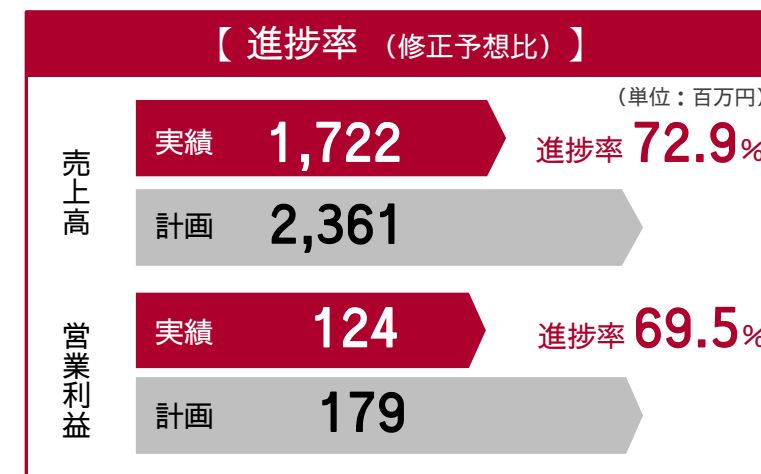
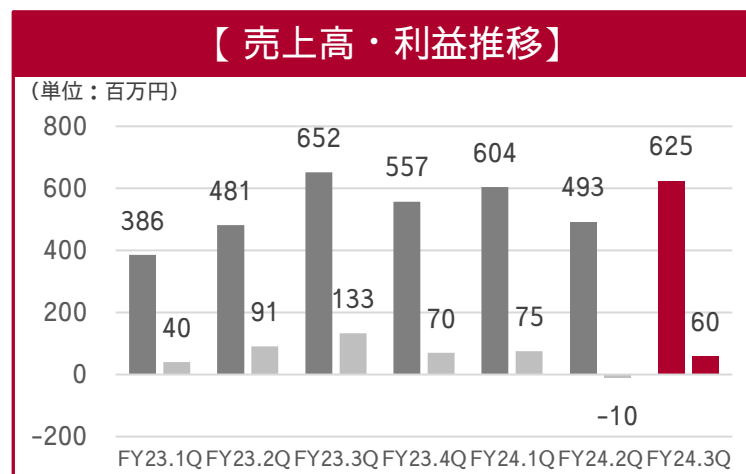
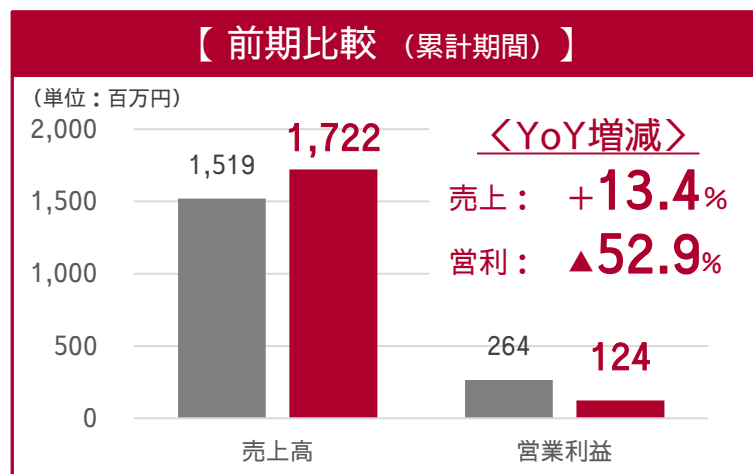
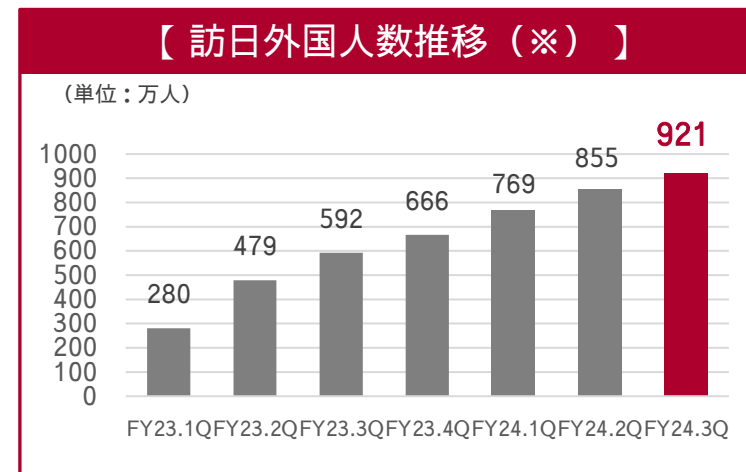
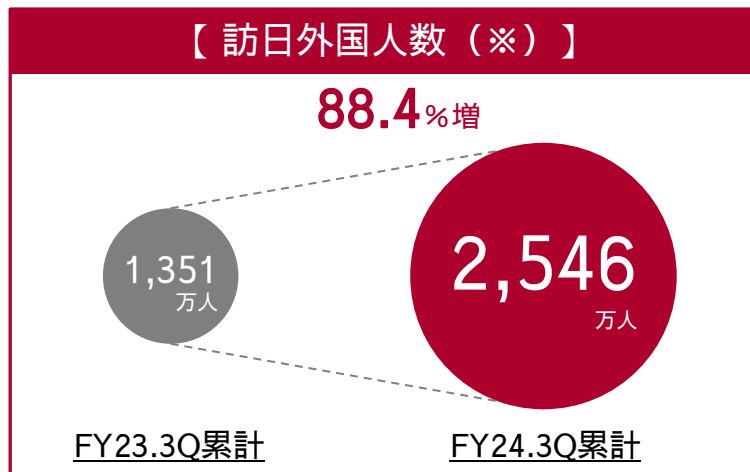
※2024年9月期第三四半期会計期間から報告セグメントを変更しています。詳細は「セグメント変更に伴う過去数値の変更」のスライドをご参照ください。  
2023年9月期以前の数値についても新たなセグメントに組み替えて表示しています。

FY2024.09

① 3Q業績ハイライト

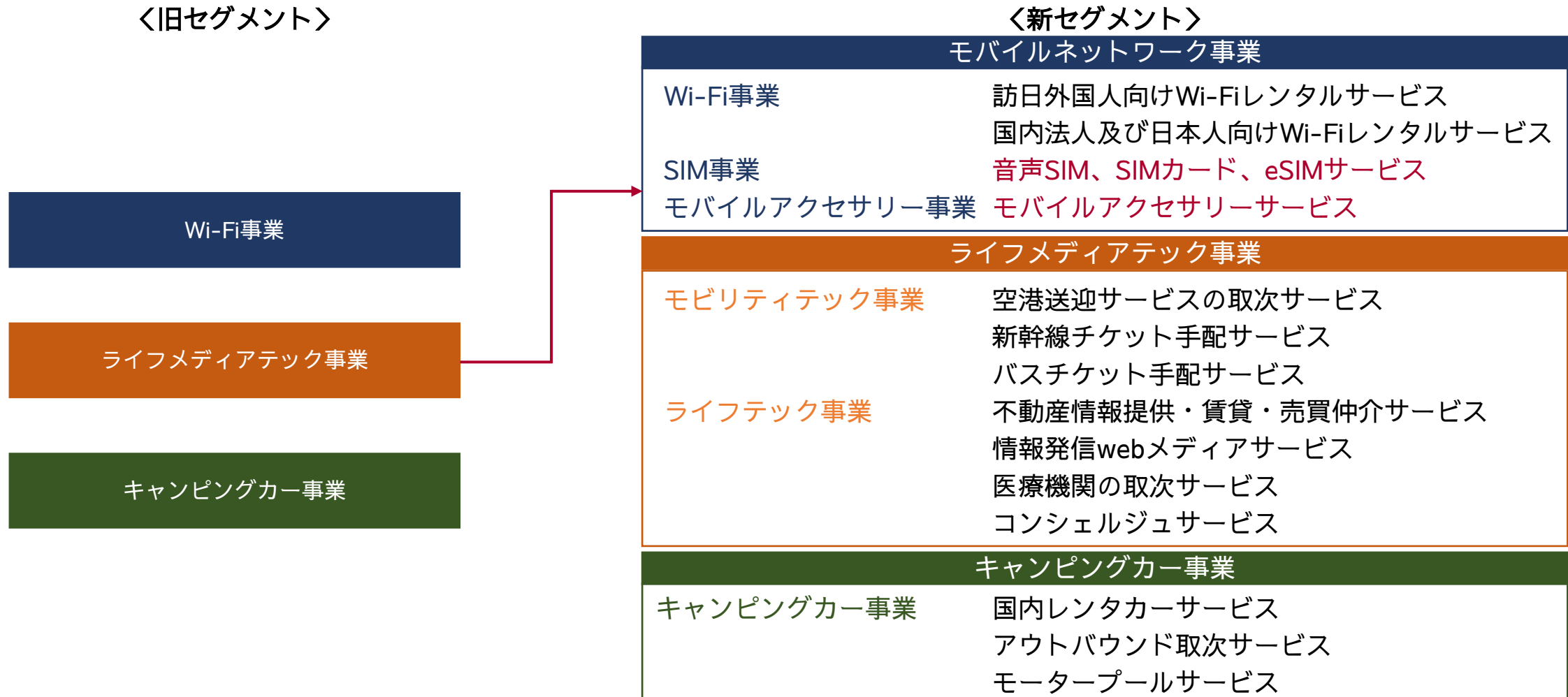
---

訪日外国人数の好調推移を受け、前期比で増収を維持  
 継続的な成長を目指し、マーケティング活動・新規サービス開発等に注力



※出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社会計期間に合わせ作成

- 技術の進化や顧客ニーズの多様化にあわせて、顧客に選ばれるサービスへと柔軟に変化してくため、事業セグメントの見直しと体制変更を実施しています。



- 2024年9月期第3四半期会計期間より報告セグメントを変更しております。新旧対比は以下の通りです。
- なお、本資料の2023年9月期以前の数値は、新たなセグメントに組み替えて表示しています。

## 【旧報告セグメント】

(単位：千円)

	FY24	
	1Q	2Q
売上高	604,079	493,221
モバイルネットワーク事業	521,784	403,855
ライフメディアテック事業	65,111	65,610
キャンピングカー事業	15,954	23,190
営業利益	75,318	▲10,903
モバイルネットワーク事業	82,924	▲6,886
ライフメディアテック事業	▲2,694	▲3,291
キャンピングカー事業	▲4,911	▲725
経常利益	76,725	▲10,971
当期純利益	52,117	▲6,610

## 【新報告セグメント】

(単位：千円)

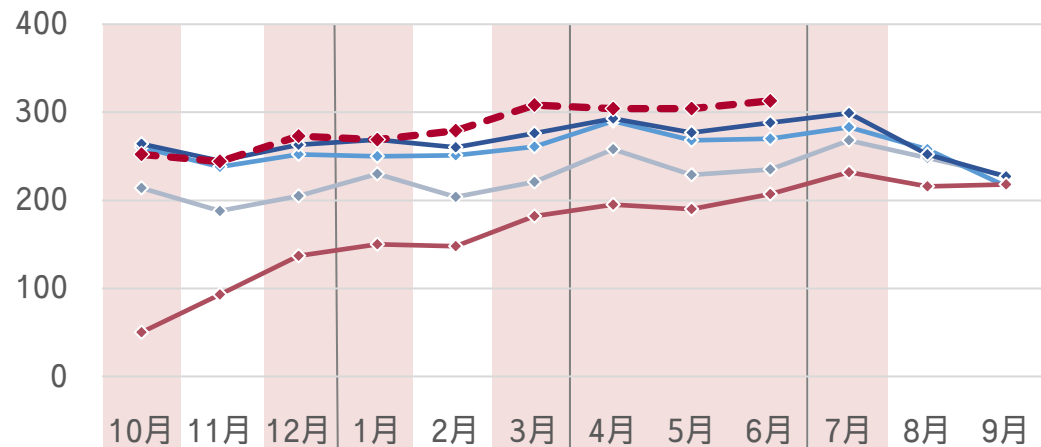
	FY24		
	1Q	2Q	3Q
売上高	604,079	493,221	625,286
モバイルネットワーク事業	556,164	419,299	510,429
ライフメディアテック事業	30,732	50,167	88,182
キャンピングカー事業	15,954	23,190	25,862
営業利益	75,318	▲10,903	60,343
モバイルネットワーク事業	84,261	▲7,085	65,901
ライフメディアテック事業	▲4,031	▲3,092	▲3,476
キャンピングカー事業	▲4,911	▲725	▲2,081
経常利益	76,725	▲10,971	58,180
当期純利益	52,117	▲6,610	40,244

# トピック1 当社の季節変動性について

- FY24.3Qのインバウンド環境は、単月300万人超の高水準を維持し増加傾向。四半期で過去最大の900万人を突破しました。
- 主要顧客層である欧米圏からの訪日外国人数は、季節変動性の予測通り1Q、2Qを上回る結果となりました。(※)

〈訪日外国人数推移〉

(単位：万人)



—●— FY17 —●— FY18 —●— FY19 —●— FY23 —●— FY24

(単位：万人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
FY17	213	187	205	229	203	220	257	229	234	268	247	228
FY18	259	237	252	250	250	260	290	267	270	283	257	215
FY19	264	245	263	268	260	276	292	277	288	299	252	227
FY20	249	244	252	266	108	19	0	0	0	0	0	1
FY21	2	5	5	4	0	1	1	1	0	5	2	1
FY22	2	2	1	1	1	6	13	14	12	14	16	20
FY23	49	93	137	149	147	181	194	189	207	232	215	218
FY24	251	244	273	268	278	308	304	304	313			

〈訪日外国人数の季節変動性〉

## サマリ

- ・ コロナ前の平均通年構成比は3Q（4-6月）がおおよそ26.6%でハイシーズン
- ・ 欧米圏からの訪日外国人数は、例年3Qが最大となり、2Qが最小となる傾向

## 1Q

10月は紅葉シーズンによる増加、11月は低下となるが12月は後半よりクリスマスバケーションによる増加

## 2Q

1月は各国のNewYear休暇等により増加、3月は後半よりお花見需要により増加傾向となるものの、当四半期が欧米圏からの訪日外国人数が年間通じて最小

## 3Q

4-6月でお花見～初夏による増加推移。欧米圏からの訪日も通年で最大値となる傾向

## 4Q

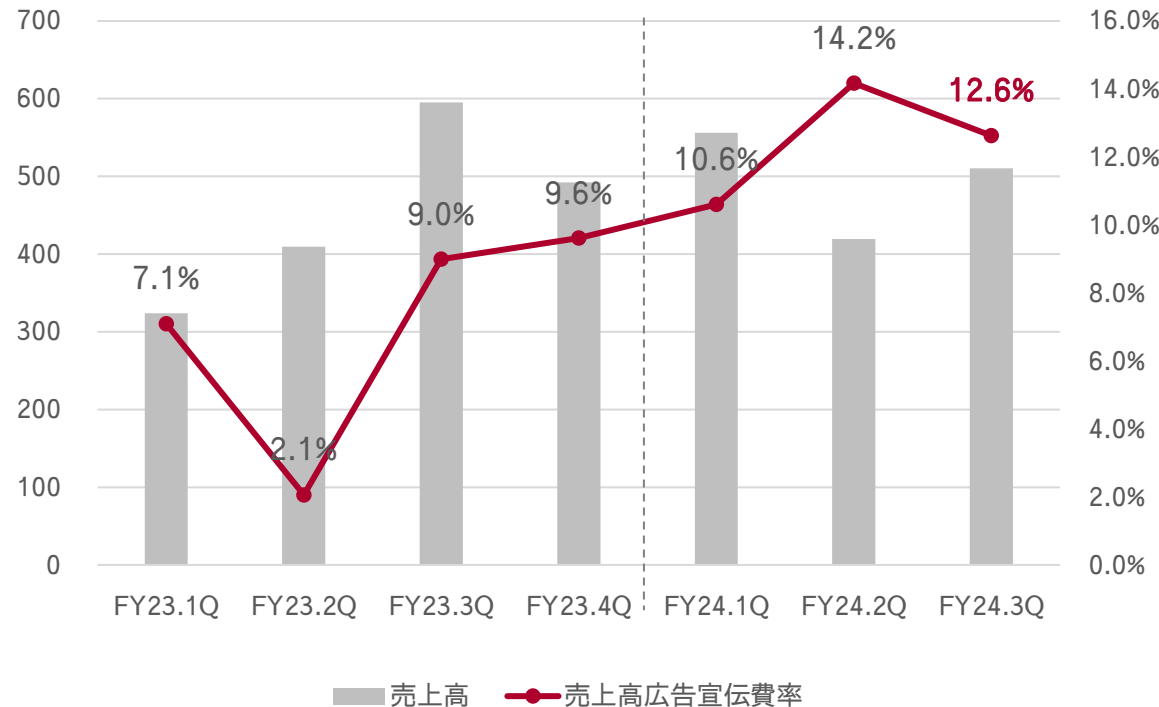
例年7月が年間最大の訪日外国人数となる傾向。8・9月は日本の旅行環境の値上げや混雑により、欧米圏からの訪日は3Qと比較し低下傾向

出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社作成  
 (※) 2024年5月、6月は推計値

- モバイルネットワーク事業のマーケット環境は、2Q以降依然として競争が激しく、3Qの売上高広告宣伝費率は12.6%と継続して高い水準となりました。
- 一方で通信契約の切替えや、発送オペレーションの体制変更等の広告宣伝費以外のコスト改善施策を進めており、FY24.4Q以降も継続的なコスト効率化を目指します。

## ＜広告宣伝費率＞

(単位：百万円)



## ＜3Qの活動状況＞

通信契約の見直し・最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信事業者との契約見直しによる原価低減を実施</li> <li>・3Q中の切替えのため、4Q以降に寄与</li> </ul>
発送オペレーションの効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発送スキーム、体制変更によるコスト低減を実施</li> <li>→3Q販管費率QoQ1.6pt低減</li> </ul>
マーケティング戦略の再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2Q比改善しているものの、依然として高い水準</li> <li>→4Qも継続対応</li> </ul>



- 本日付けの適時開示情報に記載の通り、FY24.3Q累計期間の業績を鑑み、業績予想の見直しを実施しました。
- 主にモバイルネットワーク事業におけるWi-Fiレンタルサービスについて、マーケット環境の競争激化に伴う顧客の分散化とそれによる顧客獲得コストの増加が影響したこと、およびライフメディアテック事業における新規サービスの開発投資が増加影響したことにより、業績予想と比べ業績が下振れ推移となりました。またFY24.4Qにおいては新規サービスの好調影響により売上高は回復傾向と予想するものの、業績予想に比較しコスト面は増加見込みとなるため、業績予想について下記の通り下方修正いたします。

(単位：百万円)

	前回予想 (2023年11月14日発表) (A)	修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 2023年9月期実績
売上高	2,717	2,361	▲355	▲13.1%	2,077
営業利益	450	179	▲271	▲60.2%	335
(営業利益率)	16.6%	7.6%	-9.0pt	-	16.2%
経常利益	453	179	▲273	▲60.3%	376
当期純利益	317	124	▲193	▲60.8%	252
(当期利益率)	11.7%	5.2%	-6.5pt	-	12.1%
1株当たり当期純利益	93.80円	36.12円	-	-	80.02円

(単位：千円)

	FY22				FY23				FY24		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	293,885	240,482	294,560	309,874	386,073	481,243	652,044	557,923	604,079	493,221	625,286
モバイルネットワーク事業	149,147	146,762	188,900	229,652	323,831	409,551	595,308	492,135	556,164	419,299	510,429
ライフメディアテック事業	136,004	84,302	94,748	64,330	51,294	54,482	37,523	39,227	30,732	50,167	88,182
キャンピングカー事業	8,580	8,966	7,831	15,583	10,310	16,883	18,592	26,219	15,954	23,190	25,862
売上総利益	205,556	154,561	189,632	177,932	220,772	280,417	386,007	348,994	346,550	274,400	390,654
営業利益	66,033	28,613	25,949	10,334	40,214	91,636	133,121	70,441	75,318	▲10,903	60,343
(営業利益率)	22.5%	11.9%	8.8%	3.3%	10.4%	19.0%	20.4%	12.6%	12.5%	▲2.2%	9.7%
モバイルネットワーク事業	7,198	▲99	14,692	13,140	39,066	83,924	133,445	64,595	84,261	▲7,085	65,901
ライフメディアテック事業	69,797	36,064	21,412	1,110	7,314	9,678	2,757	3,309	▲4,031	▲3,092	▲3,476
キャンピングカー事業	▲10,961	▲7,351	▲10,155	▲3,916	▲6,167	▲1,966	▲3,081	2,536	▲4,911	▲725	▲2,081
経常利益	67,034	28,974	25,053	9,531	40,849	91,911	192,033	51,941	76,725	▲10,971	58,180
当期純利益	46,442	20,073	17,357	13,041	28,019	63,687	130,830	29,483	52,117	▲6,610	40,244
(当期純利益率)	15.8%	8.3%	5.9%	4.2%	7.3%	13.2%	20.1%	5.3%	8.6%	▲1.3%	6.4%

# FY2024.09

## 2 3Q決算概要

---

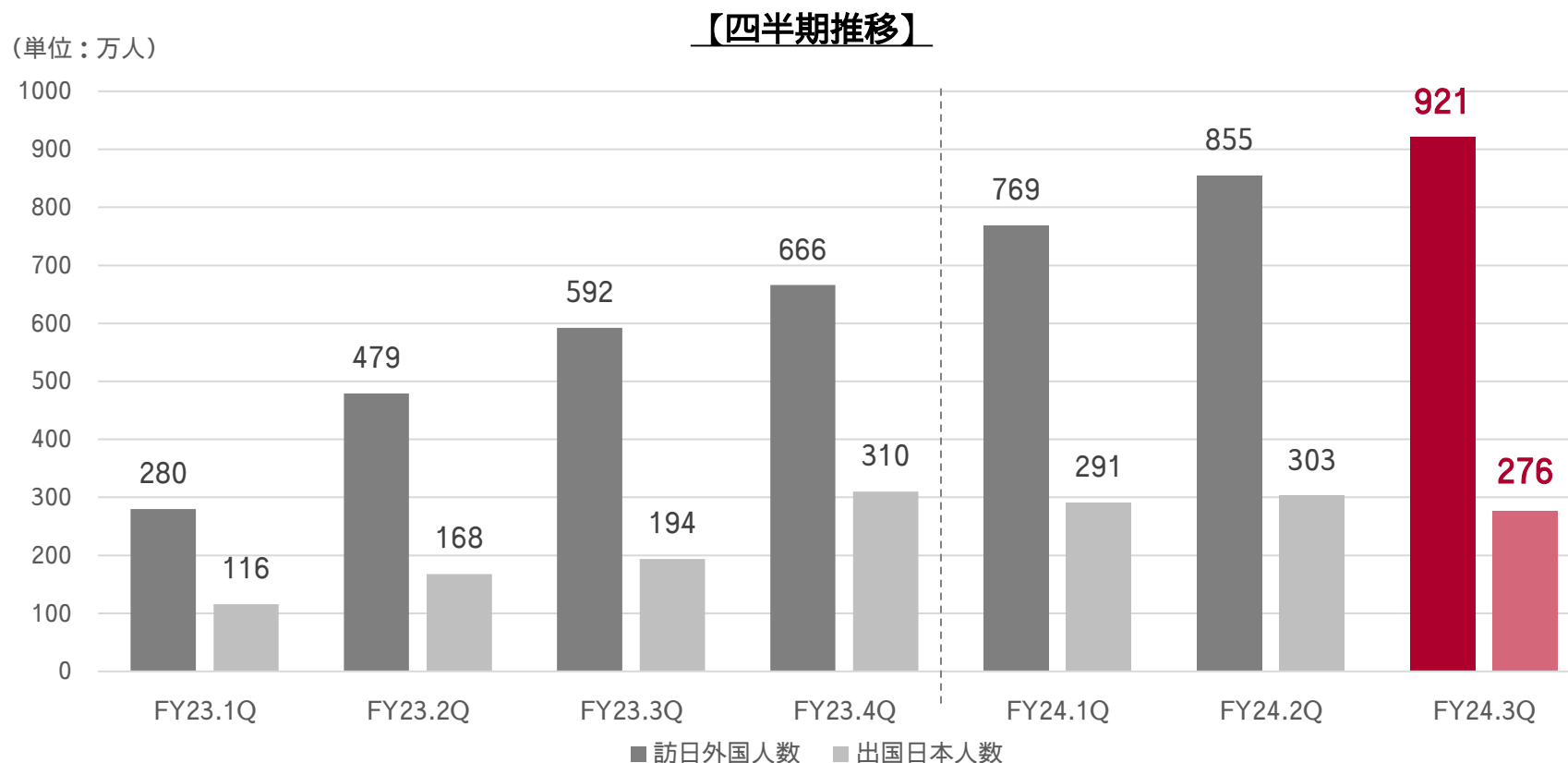
- FY24.3Qの売上高は、前期と比較し訪日外国人および出国日本人数の累計人数が好調に推移した影響で、YoYは13.4%増加の1,722百万円の増収着地。
- 同営業利益は、モバイルネットワーク事業に係るマーケット環境の競争激化が2Qより引き続いた影響で、広告宣伝費や販売手数料が増加、また新たなサービス開発への投資による人件費や外注費の増加が影響し、YoYは52.9%減少の124百万円。

(単位：百万円)

	FY23.3Q	FY24.3Q	YoY	FY24 通期計画	進捗率
売上高	1,519	1,722	13.4%	2,361	72.9%
売上総利益	887	1,011	14.0%	1,440	70.2%
営業利益	264	124	▲52.9%	179	69.5%
(営業利益率)	17.4%	7.2%	▲10.2pt	7.6%	-
経常利益	324	123	▲61.8%	179	69.0%
当期純利益	222	85	▲61.5%	124	69.0%
(当期純利益率)	14.7%	5.0%	▲9.7pt	5.3%	-

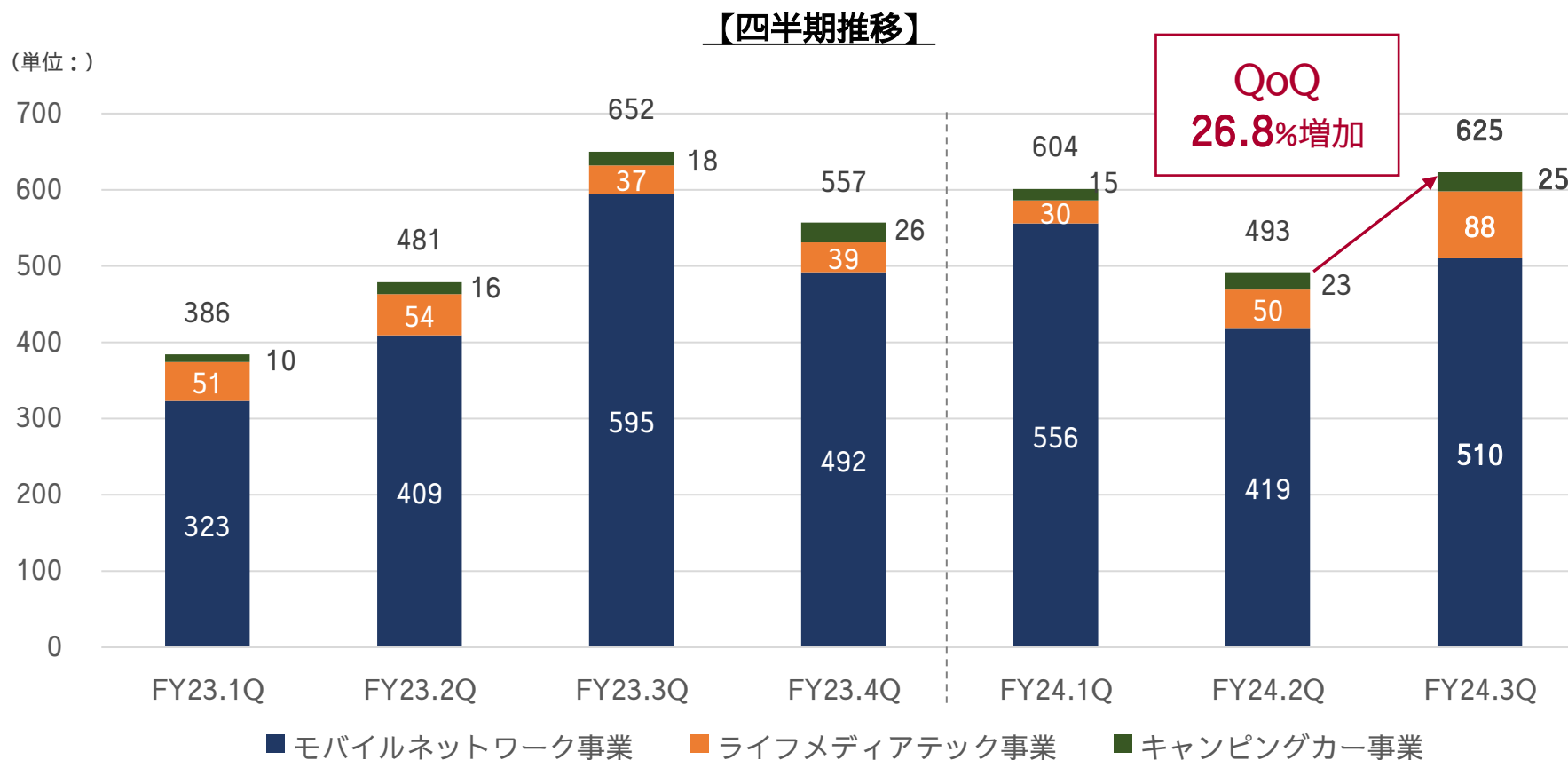
## 訪日外国人・出国日本人の推移（当社会計期間単位）

- FY24.3Qの訪日外国人数は、各月300万人超で推移。QoQは66万人（+7.7%）増加の921万人。
- 出国日本人数は、QoQで27万人（▲9.1%）減少の276万人。



出典：日本政府観光局（JNTO）「月別・年別統計データ（訪日外国人・出国日本人）」より当社作成

- FY24.3Q 全社売上高は、QoQで26.8%増加の625百万円となった。主に、モバイルネットワーク事業で花見・初夏シーズン需要もありQoQで21.7%増収したことによるもの。
- ライフメディアテック事業は、前四半期リリースした新幹線チケット手配サービスが好調で、QoQで75.8%増加。既存事業のマーケティング強化と新規サービス展開で収益拡大を目指す。
- キャンピングカー事業は、訪日外国人数増加の影響もあり、2Qより11.5%増加の25百万円と順調に推移。



モバイルネットワーク事業

ライフメディアテック事業

キャンピングカー事業

- FY24.3Q売上高は、主にモバイルネットワーク事業におけるWi-Fiレンタルサービスについて、マーケット環境の競争激化に伴う顧客の分散化により、当初計画と比べ業績が下振れ推移となり、当初予算に対する進捗率は72.9%となった。

### 2024年9月期 通期業績予想売上高 2,361百万円



累計 72.9%

### 2023年9月期 通期売上高 2,077百万円



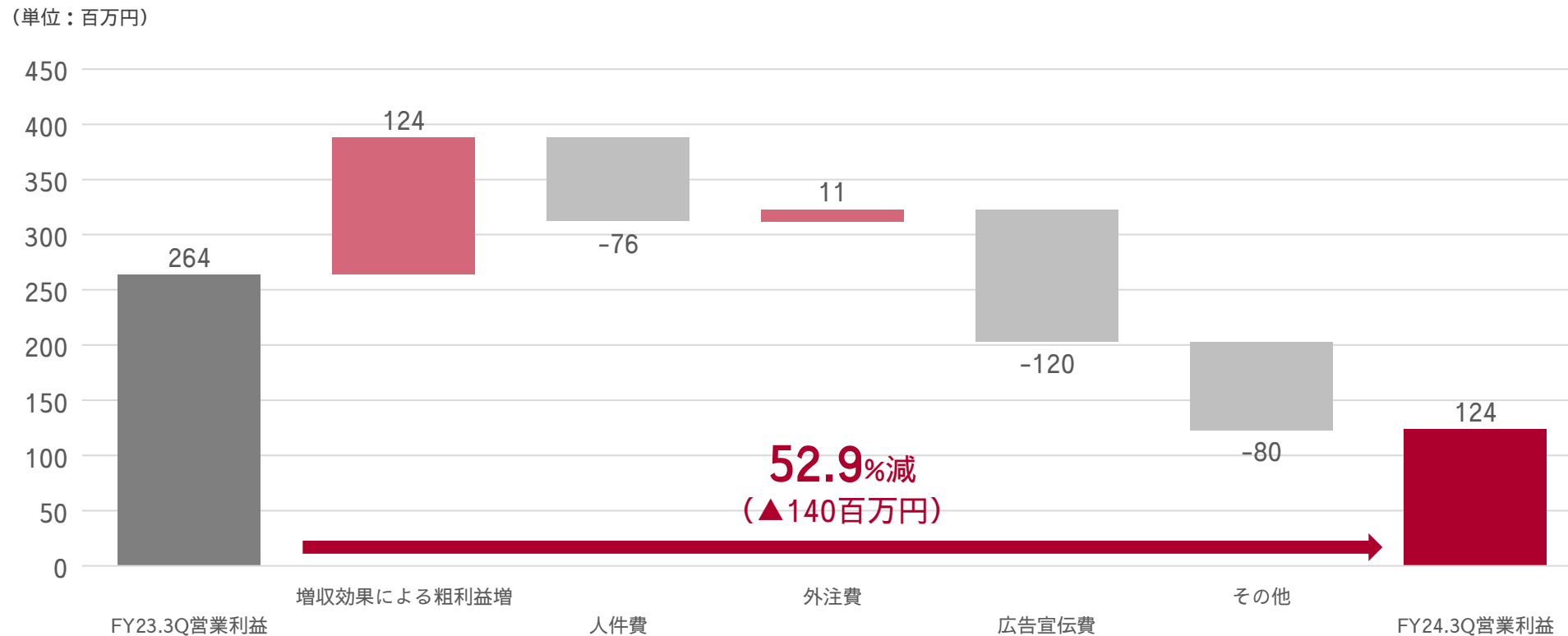
累計 73.1%

- FY24.3Q営業利益の前期比増減に係る主な要因は、モバイルネットワーク事業のマーケティング強化に伴う広告宣伝費の増加によるもの。次いで、ライフメディアテック事業における新サービス開発に係る人件費および広告宣伝費の増加が、YoY52.9%減少の要因となった。

モバイルネットワーク事業

ライフメディアテック事業

キャンペーンカード事業





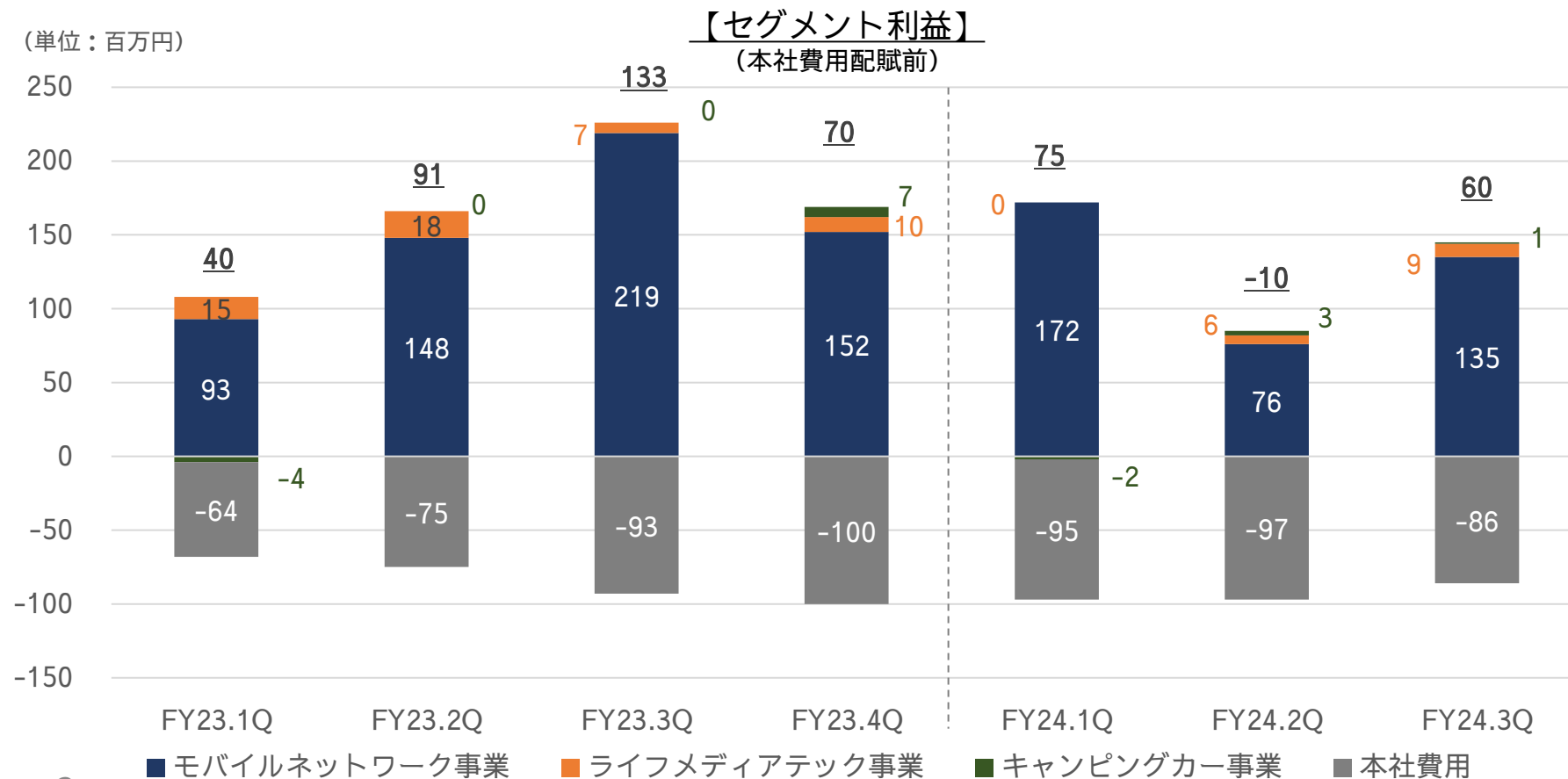
# 営業利益推移（事業セグメント別）

- FY24.3Q営業利益は、モバイルネットワーク事業のセグメント利益が、季節影響による売上高の増加によりQoQで58百万円増加したことにより、全社四半期営業利益は黒字回復。
- FY24.4Qは引き続き、売上高の拡大および費用の効率化を推進し、利益の拡大を目指す。

モバイルネットワーク事業

ライフメディアテック事業

キャンピングカー事業



- FY24.3Qの現金及び同等物は、主に差入保証金、未払法人税の減少に伴い541百万円の減少。
- 固定資産は、主に差入保証金の増加とキャンピングカーの増台等により、前期比101.4%増加。
- 自己資本比率は、利益剰余金の増加等により、3.6pt上昇の61.2%と十分な水準を維持。

(単位：百万円)

	FY23.4Q	FY24.3Q	増減率
流動資産	1,280	810	▲36.7%
現金及び同等物	1,204	662	▲44.9%
その他流動資産	76	147	92.6%
固定資産	540	1,088	101.4%
総資産	1,821	1,899	4.3%
流動負債	558	555	▲0.5%
借入金	61	49	▲19.5%
その他流動負債	496	505	▲35.9%
固定負債	214	181	▲15.5%
総負債	772	736	▲4.7%
純資産	1,048	1,163	10.9%
自己資本比率	57.6%	61.2%	3.6pt

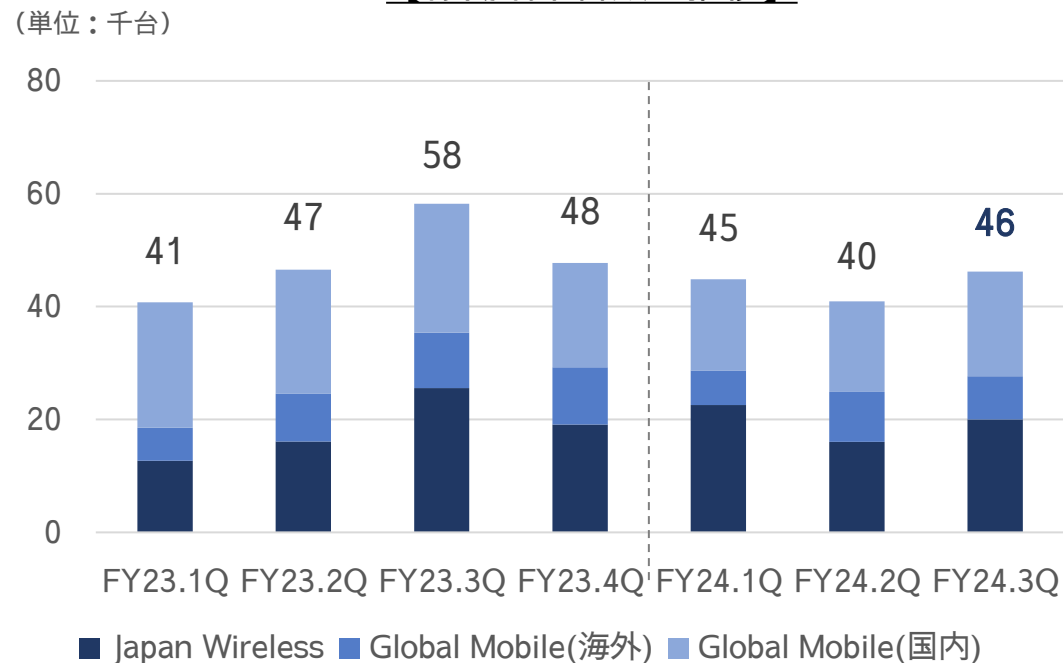
② FY2024.09 3Q概要  
モバイルネットワーク事業

---

## 事業の状況

- モバイルネットワーク事業の売上高は、YoYでは11.8%増加。QoQは、春から初夏にかけて訪日外国人数の伸長により、21.7%増収。
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、マーケット環境の競争激化に伴う、広告宣伝費の増加等によりYoYは16.6%減少。一方で、QoQは売上高の拡大とその他コストの効率化により、76.3%増益（P.8参照）

【稼働端末台数の推移】



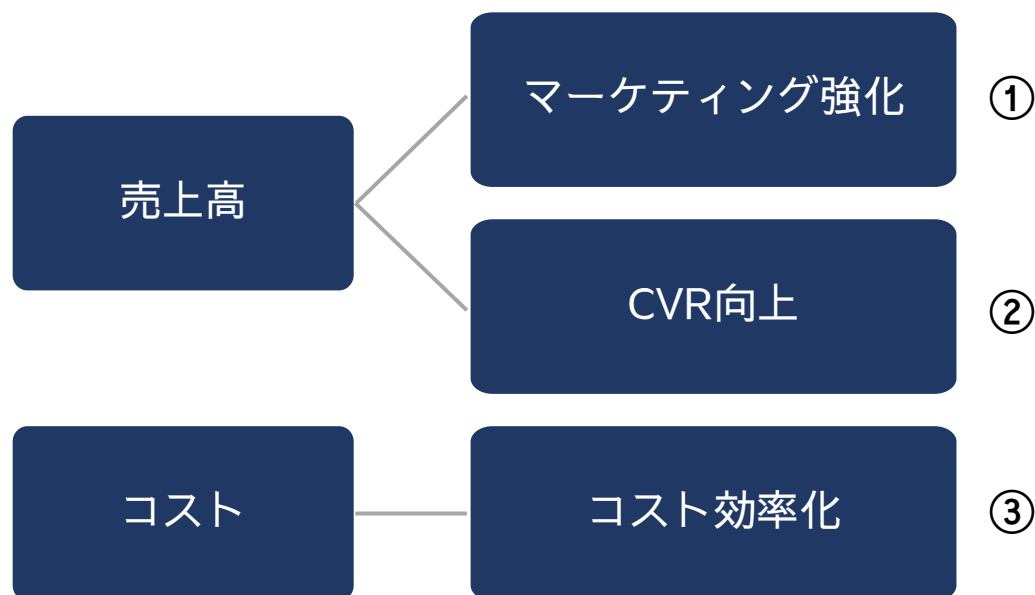
【対比】

(単位：千円)

	FY23.3Q 累計	FY24.3Q 累計	YoY	FY24.2Q	FY24.3Q	QoQ
売上高	1,328,691	1,485,892	11.8%	419,299	510,429	21.7%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	461,254	384,688	▲16.6%	76,842	135,450	76.3%
営業利益率	34.7%	25.9%	▲8.8pt	18.3%	26.5%	8.2pt
セグメント利益 (本社費用配賦後)	256,437	143,076	▲44.2%	▲7,085	65,901	-

今後の取組み(1)

モバイルネットワーク事業では、マーケット環境の変化に柔軟に対応していけるよう、売上高拡大とコスト改善の両面より施策を推進し、事業構造の強化・改善を図る。



①マーケティング強化

親会社である株式会社エアトリにおいて「エアトリWi-Fi」「エアトリeSIM」の販売を開始。エアトリブランドを活用したクロスセルを強化。



Copyright © AirTrip Corp. All Rights Reserved.

## 今後の取組み(2)

顧客のサービスサイトへの流入から購入までの操作性を改善し、スムーズな体験を提供することでCVR向上を図る。

### ②CVR向上

- Wi-FiレンタルサービスのUX向上**  
 直前予約対応や、空港での当日申込対応を開始。  
 夏休みや秋の行楽シーズンの旅行需要増に対応。
- グロモバeSIMのUI改善**  
 シンプルなプラン設定や、個人情報が入力不要な決済手段を追加導入。
- グロモバeSIM アプリ**  
 グロモバeSIMのスマホアプリの配信を開始。

### ③コスト効率化

- 通信契約の見直し・最適化**  
 通信事業者との契約見直しによる原価低減を実施。  
 3Q中の切替えのため、4Q以降に寄与。
- 発送オペレーションの効率化**  
 発送スキーム、体制変更によるコスト低減を実施。  
 →3Q販管費率QoQ1.6pt低減
- マーケティング戦略の再構築**  
 2Q比改善しているものの、依然として高い水準  
 →4Qも継続対応

モバイルネットワーク事業  
ライフメディアアタック事業  
キャンペーンカード事業

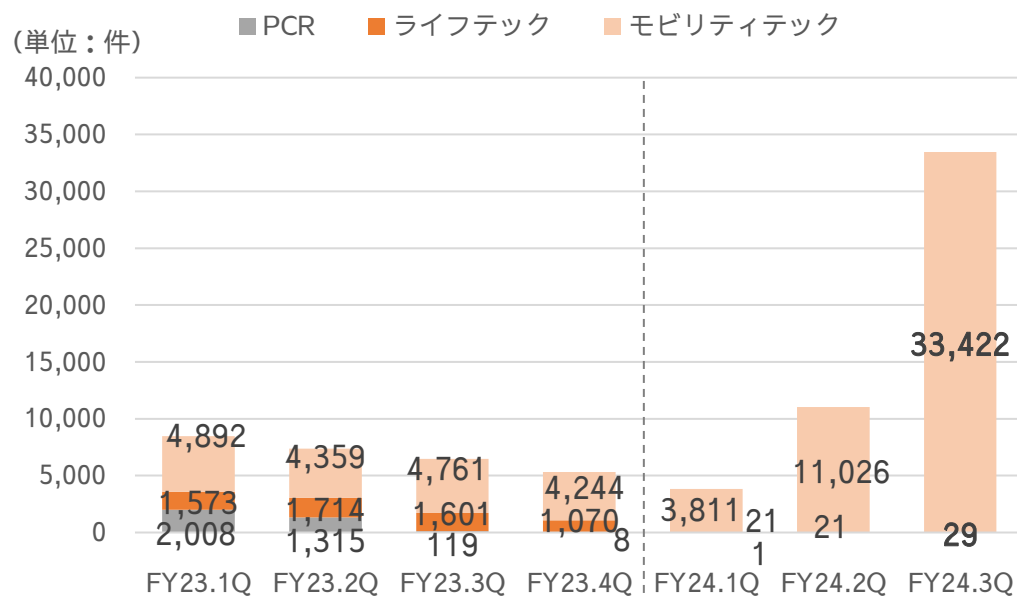
② FY2024.09 3Q概要  
ライフメディアテック事業

---

## 事業の状況

- セグメントKPIである取次件数総数は、2024年1月にサービスの提供を開始したJAPAN BULLET TRAINの高成長により、大幅増加。売上高はQoQで75.8%増加。
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、新サービスの売上増によりQoQで54.5%増加。一方で、YoYは、新サービス展開および開発に係る人件費・広告宣伝費・支払手数料等の増加影響により、YoYで59.6%減少。

【取次件数の推移】



【対比】

(単位: 千円)

	FY23.3Q 累計	FY24.3Q 累計	YoY	FY24.2Q	FY24.3Q	QoQ
売上高	143,301	169,082	18.0%	50,167	88,182	75.8%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	41,840	16,893	▲59.6%	6,307	9,747	54.5%
営業利益率	29.2%	10.0%	▲19.2pt	12.6%	11.1%	▲1.5pt
セグメント利益 (本社費用配賦後)	19,750	▲10,599	-	▲3,092	▲3,476	-



## 今後の取組み

ライフメディアテック事業では、情報発信や生活サポートを行うライフテック事業と、安心して交通機関を利用できる環境を提供するモビリティテック事業の2事業を展開。

日本における不便を解消し、訪日外国人の日本滞在の満足度向上とともに、オーバーツーリズムや移動問題等の解消を目指し、モビリティテック事業に注力します。

### ライフテック事業



情報発信 Webメディア  
「Japan Web Magazine」



不動産情報提供、賃貸・売買仲介



医療機関の取次



チャットコンシェルジュアプリ

### 注力事業 モビリティテック事業



新幹線チケット手配



高速バスチケット手配

7月サービス開始

今期サービス  
開始予定

CAR RENTAL JAPAN (開発中)

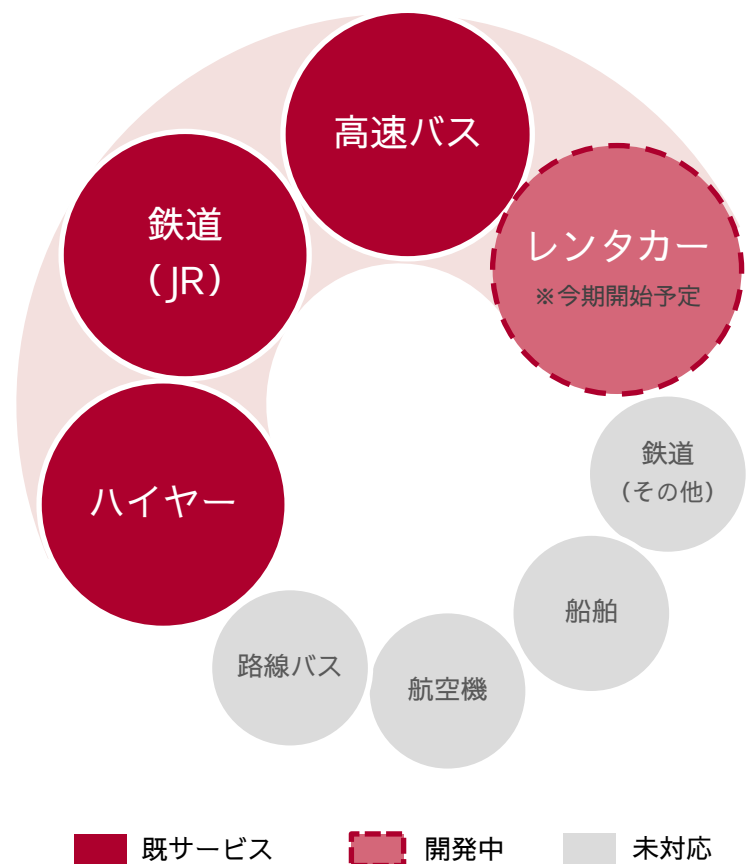
レンタカーの手配

AIRPORT TAXI

空港送迎サービスの取次

## 今後の取組み

モビリティテック事業では、訪日外国人数が急増するなか、多様化する『日本での体験』ニーズを可能にする手段としての移動（モビリティ）サービスについて、サービスの幅と品質を高める取組みを推進します。



- ◆ 開発中サービスのリリース
- ◆ 既サービスの改善・強化
- ◆ 未対応領域へのチャレンジ

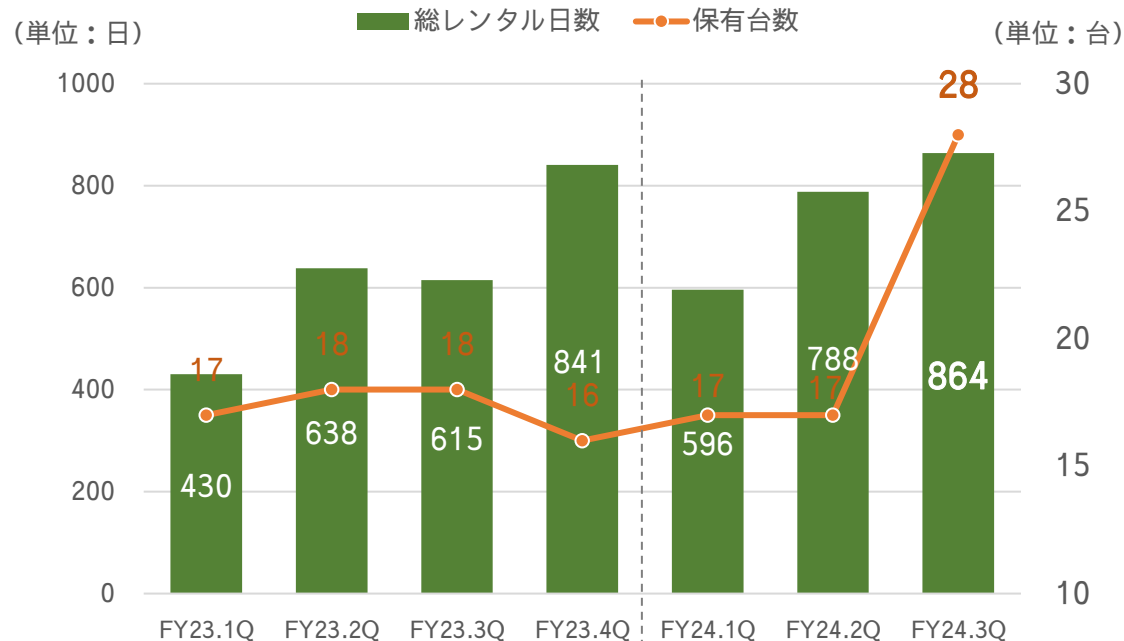
② FY2024.09 3Q概要  
チャンピングカー事業

---

## 事業の状況

- セグメントKPIである総レンタル日数は、通常期であるものの訪日の好影響等により、QoQで124日増加の864日と引き続き好調に推移。
- セグメント利益（本社費用配賦前）は、ゴールデンウィークや初夏の需要等を取り込み、国内レンタル・海外アウトバウンドともに好調に推移した結果、保有台数増加により販売管理費が増加したが安定して黒字を維持。

【総レンタル日数の推移】



【対比】

(単位：千円)

	FY23.3Q 累計	FY24.3Q 累計	YoY	FY24.2Q	FY24.3Q	QoQ
売上高	45,785	65,007	42.0%	23,190	25,862	11.5%
セグメント利益 (本社費用配賦前)	▲4,157	2,851	-	3,650	1,548	▲56.6%
営業利益率	▲9.1%	4.4%	13.5pt	15.7%	6.1%	▲9.6pt
セグメント利益 (本社費用配賦後)	▲11,215	▲7,718	-	▲725	▲2,081	-

## 今後の取組み

キャンピングカー事業は、引き続き提携企業との連携強化・サービスプロモーションを実施し、キャンピングカー需要を高める活動を推進。

### 【マーケティング対応】

- 大型のキャンピングカーやトレーラーの保管施設であるモータープールの面積を拡張しサービス拡充。利用申込状況も好調。
- キャンプ場、訪問先との連携・提携による顧客ニーズへの対応

### 【4Q以降の取組み】

- リピート獲得向上のための取組み強化
- レンタル拠点の拡充を検討  
訪日外国人の方々の利便性の高い立地で検討
- 小型車両等、幅広いニーズに合わせたラインナップの拡充

② FY2024.09 3Q概要  
その他

---

## 「第18回IPO大賞」を受賞

- 当社は、一般社団法人東京ニュービジネス協議会が主催する「第18回IPO大賞」を受賞いたしました。
- 当社が徹底してお客様の視点に立ったサービスを提供し、再び日本に来たいと思える人を世界中に増やす事業を展開しており、ベンチャー企業として更なる成長の可能性が高いとの理由により選出いただきました。



FY2024.09

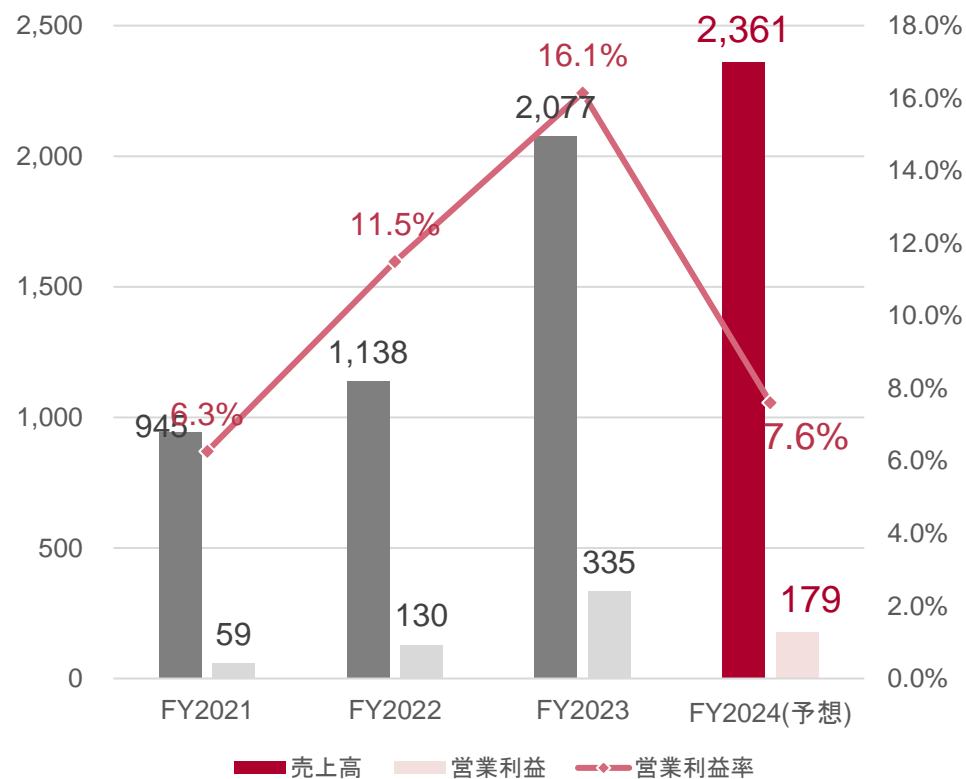
③ 業績予想および今後の取組み

---



- 本日付けの適時開示情報に記載の通り、FY24.3Q累計期間の業績を鑑み、業績予想の見直しを実施しました。
- 売上高は13.1%減少の2,361百万円、営業利益は60.2%減少の179百万円と下方修正しております。

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	FY2024.3Q		FY2024		進捗率
	実績	売上高比	修正予想	YoY 増減率	
売上高	1,722	-	2,361	13.7%	72.9%
売上総利益	1,011	58.7%	1,440	16.5%	70.2%
営業利益	124	7.2%	179	▲46.5%	69.5%
経常利益	123	7.2%	179	▲52.3%	69.0%
当期純利益	85	5.0%	124	▲50.7%	69.0%

- インバウンドビジネスにおけるマクロ環境は、コロナ収束以降、好調に推移しておりますが、ネットワークサービスマーケットにおいては、マーケット環境の競争激化・サービス技術の進歩など大きく変化しております。当社は、変化する環境への適応とさらなる成長を目指し、将来につながる適切なコスト投資が必要であると判断し、修正対応といたしました。

### 〈修正理由〉

#### 売上高

2024年9月期第3四半期累計期間のモバイルネットワーク事業において、マーケット競争激化およびネットワークサービスの多角化（Wi-Fi、SIM、ローミングなど）により顧客行動が分散化されております。これにより、モバイルネットワーク事業の売上高が当初予想と比較し、低調推移となりました。ライフメディアテック事業において当期リリースした新規サービスが売上高に好影響となったものの、2024年9月期通期売上高においては、修正判断となりました。

#### 営業利益

同営業利益の修正要因は、主に以下の2つコスト投資が影響しております。

- モバイルネットワーク事業の売上高影響（上記）に加え、顧客獲得強化に要したマーケティングコストが大幅に増加
- ライフメディアテック事業において、当期リリースおよび開発を進めている新サービスにかかる投資の増加

## 【参考】セグメント別業績予想（本社費用配賦前）

(単位：千円)

	前回予想 (2023年11月14日発表) (A)	修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)
売上高	2,717	2,361	▲355	▲13.1%
モバイルネットワーク事業	2,415	1,948	▲467	▲19.3%
ライフメディアテック事業	220	310	89	40.9%
キャンピングカー事業	81	99	17	21.9%
その他	-	3	3	-
営業利益	450	179	▲271	▲60.2%
モバイルネットワーク事業	870	476	▲394	▲45.3%
ライフメディアテック事業	48	30	▲18	▲37.0%
キャンピングカー事業	6	10	3	48.0%
本社費用	▲474	▲337	137	28.9%
経常利益	453	179	▲273	▲60.3%
当期純利益	317	124	▲193	▲60.8%

### 4Q以降の主な取組み

- 3Qより継続し、4Qにおいても業績に寄与する取組みを推進する。

サービス開発  
加速

顧客ニーズを分析し  
新サービスの開発を推進する

現在開発中サービスの  
早期リリースを目指す

マーケティング  
活動強化

競争高まる環境で  
顧客獲得アクションの実施

マーケティング効率向上となる  
アクションプランの策定

コスト改善

マーケット環境の変化に耐え  
うる体制構築

収益性の余力を担保する

## 各事業セグメントの取組み（マーケティング強化・サービス開発）

各事業セグメントの取組みは、マーケティング強化を中心に売上高獲得に繋がるアクションを優先的に実施します。ライフメディアテック事業では、モビリティテック事業の事業成長に注力し、既存サービスの拡大・新規サービスのリリースを進めます。

### 【モバイルネットワーク事業】

#### ●顧客獲得マーケティングの強化

##### 大手旅行会社との提携

- 大手旅行会社とのインバウンド・アウトバウンド両面で提携

##### 全国の国際空港内のカウンターでの受け渡し順次開始

##### 海外OTAとの連携の強化

- 海外OTA、プラットフォーム上での販売・クロスセルの強化

##### 広告施策の再構築

- アフィリエイト広告や、大阪万博に向けた広告施策の検討

### 【ライフメディアテック事業】

#### ●モビリティテック事業の推進

- 新たにモビリティ領域でのサービスを拡充し、在留外国人だけでなく訪日外国人にも日本国内の様々な場所を訪れやすい環境を創出
- 外国人向け新幹線チケット手配サービス（2024/1提供開始）
- 外国人向けバスチケット手配サービス（2024/7提供開始）
- 外国人向けレンタカー予約サービスを今期中提供開始予定

#### ●ライフテック事業の拡充

引き続き、外国人の日本滞在環境の拡充を目指し、様々なサービス開発を推進します。

### 【キャンピングカー事業】

#### ●ハイシーズンに向けた顧客獲得環境整備を推進

##### 夏休みや行楽シーズンの需要拡大期への対応

- イベント・キャンペーンの実施
- 提携による利用可能車種の拡充
- ウェブサイトの更新

##### キャンピングカー利用環境の充実推進

- キャンピングカー利用機会の創出
- オプションや安全保障の拡充
- 駐車場（モータープール）などの利用環境提供サービスの推進

# ご参考資料 事業概要

---

A photograph of three women walking and smiling on a Japanese street. The woman on the left is wearing a purple kimono. The woman in the middle is wearing a blue and white plaid dress. The woman on the right is wearing a white top and a patterned bag. The background shows a street with shops and signs.

また来たい、日本

Make people from all over the world *Love This Country.*

外国人の日本における課題・不便を解決し、  
中長期的に成長する訪日及び在留外国人市場を牽引する業界のリーダーを目指します。

## 事業セグメント

訪日外国人 / 在留外国人 / 日本人 / 法人 を顧客対象として  
3つの事業複数のサービスを展開しています

### モバイルネットワーク事業

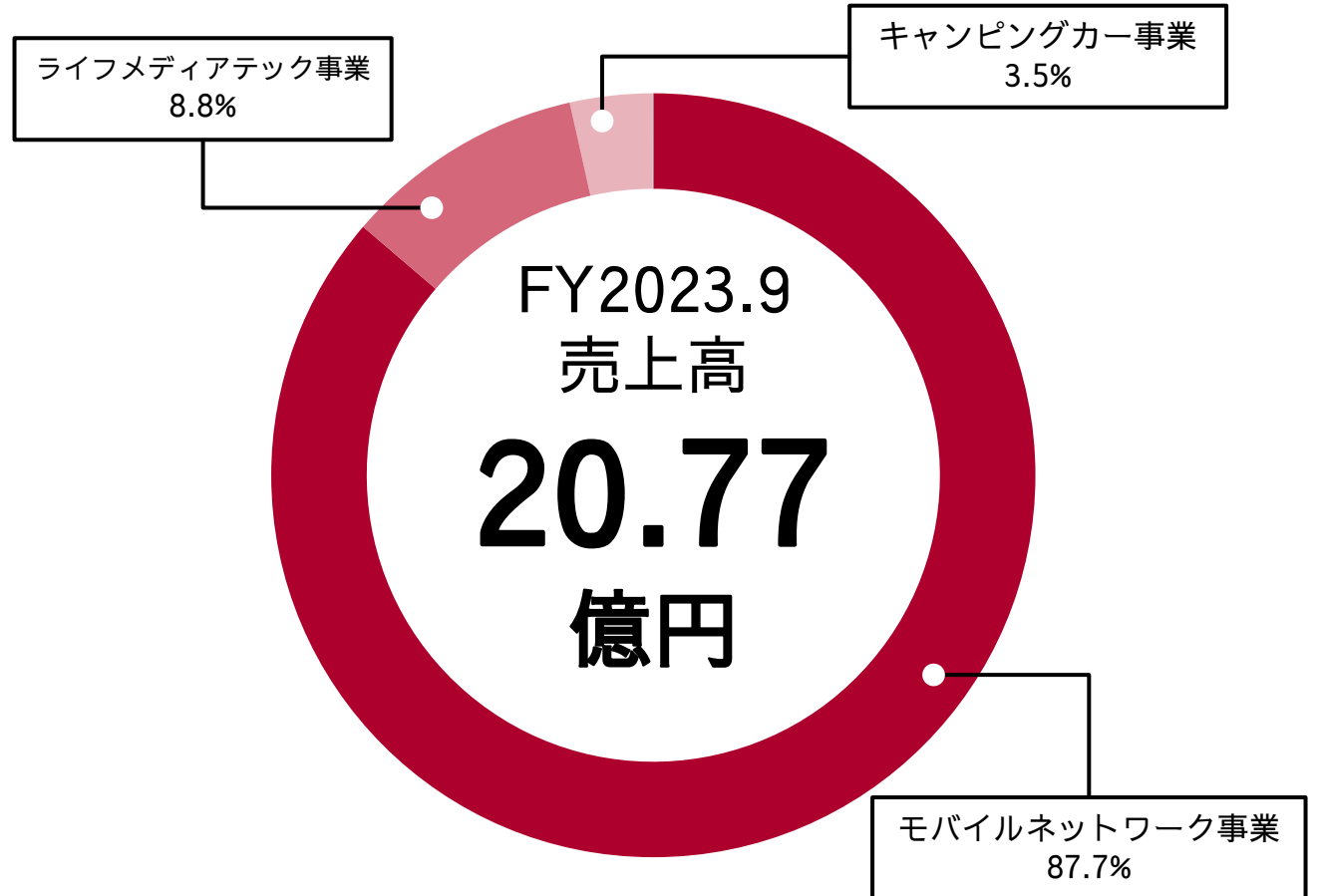
快適なインターネット環境の実現を目指し、顧客の利用用途に合わせたWi-Fiレンタル、eSIMを提供する通信事業

### ライフメディアテック事業

「住まい」「医療・ヘルスケア」「移動」をはじめとする  
訪日・在留外国人向けの統合ライフサービス事業

### キャンピングカー事業

米国キャンピングカーレンタル大手であるEl Monte RVの  
正規代理店としてレンタルを行なうキャンピングカー事業





## モバイルネットワーク事業

国内・海外・訪日領域で事業展開。安心・安全・快適なインターネット環境を世界中に提供

お客様の利用用途に合わせたお得なWi-Fiレンタルサービス、eSIMサービスを提供しています。



訪日外国人向け  
Wi-Fi レンタル  
「Japan Wireless」

クロモバ

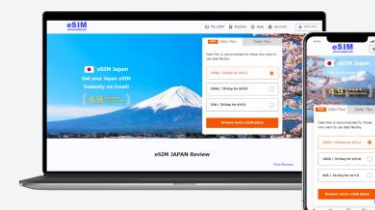


国内法人及び日本人向け  
Wi-Fi レンタル  
「クロモバ」

クロモバ eSIM



海外・国内利用向け  
eSIMサービス  
「クロモバeSIM」



訪日外国人向け  
eSIMサービス  
「Japan Wireless eSIM」



通信環境の取次  
「Japan Wireless Mobile」

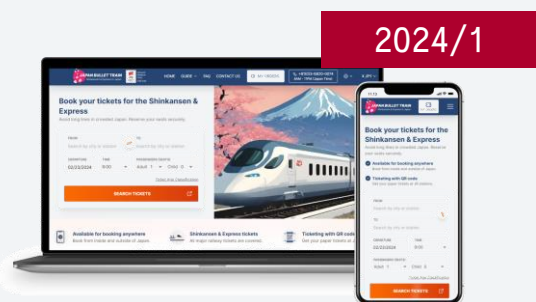
累計レンタル実績80万台突破。高品質の通信キャリア回線を**通信データ無制限**で提供

2023年11月より全世界で使用できる**通信データ無制限eSIM**の提供も開始

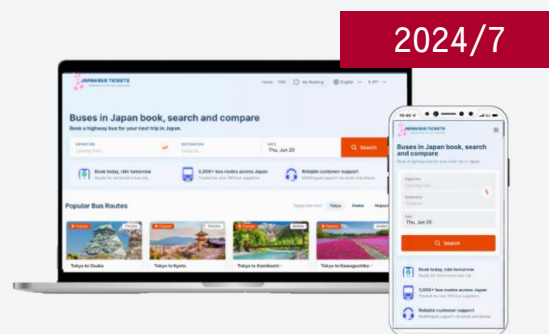
# ライフメディアテック事業

## 訪日・在留外国人の生活をサポートする統合ライフサポートサービスを提供

日本で生活する上で必要なサービスは、問合せ先や各種手続きが煩雑であり、日本語が難しい外国人にとって時間と手間がかかります。訪日・在留外国人の方が必要とするサービスを垂直的に立ち上げ、自社保有の多言語コールセンターを活用しながら日本での生活をサポートしています。



新幹線チケット手配  
「JAPAN BULLET TRAIN」



高速バスチケット手配  
「JAPAN BUS TICKETS」



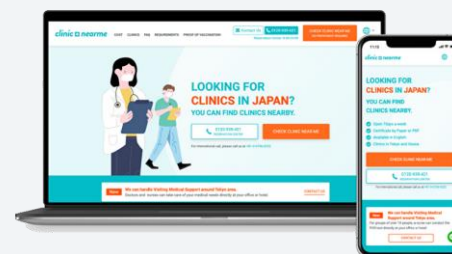
空港送迎サービスの取次  
「Airport Taxi」



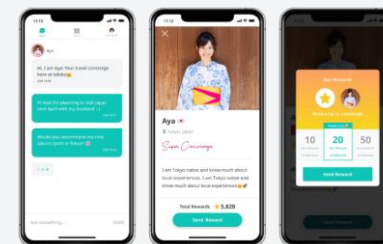
不動産情報提供・賃貸仲介  
「Living Japan」



情報発信 Webメディア  
「Japan Web Magazine」



医療機関の取次  
「Clinic Nearme」



チャットコンシェルジュアプリ  
「Tabiko」

# キャンピングカー事業

## 米国キャンピングカーレンタル大手の代理店として、レンタルキャンピングカーサービスを提供

国内レンタルでは、28台のキャンピングカーを保有し、訪日旅行客および日本人顧客向けにレンタルサービスを提供しています。  
海外レンタルでは、米国キャンピングカーレンタル大手EL MONTE RENTS, INC.への日本人顧客の取次ぎを代理店として行っています。

### 国内レンタル（全国6拠点）



### 海外レンタル（世界4ヶ国）



## 我々の強み

長年、訪日旅行事業を営み、外国人向けのサービス提供に特化してきたことで、外国人との多くのタッチポイントと、外国人に対するカスタマーサポートノウハウを有しています

### 外国人向けサービス提供ノウハウ

- 外国人向けWeb情報メディアの運営／外国人向けチャットコンシェルジュサービス／外国人向けWi-Fiレンタルサービス／外国人向けハイヤーサービス／外国人向け医療機関案内サービスなど様々な外国人向けのWebサービスを展開



### 外国人との豊富なタッチポイント

- 新幹線乗車券の発券枚数：月間 15,000～18,000枚
- 外国人向けWeb情報メディアを自社保有：月間150-200万PV
- Wi-Fiユーザー：月間 10,000～18,000組
- 送迎ハイヤーユーザー：月間 900～1,300組



### 外国人へのカスタマーサポートノウハウ

- 7言語以上対応可能なコールセンターを自社保有
- 行政機関の外国人カスタマーサポートの受注実績
- 自社の訪日外国人向けコンシェルジュアプリでは、4.6 / 5の高評価のレビューをいただいております



ABOUT US

## 会社概要

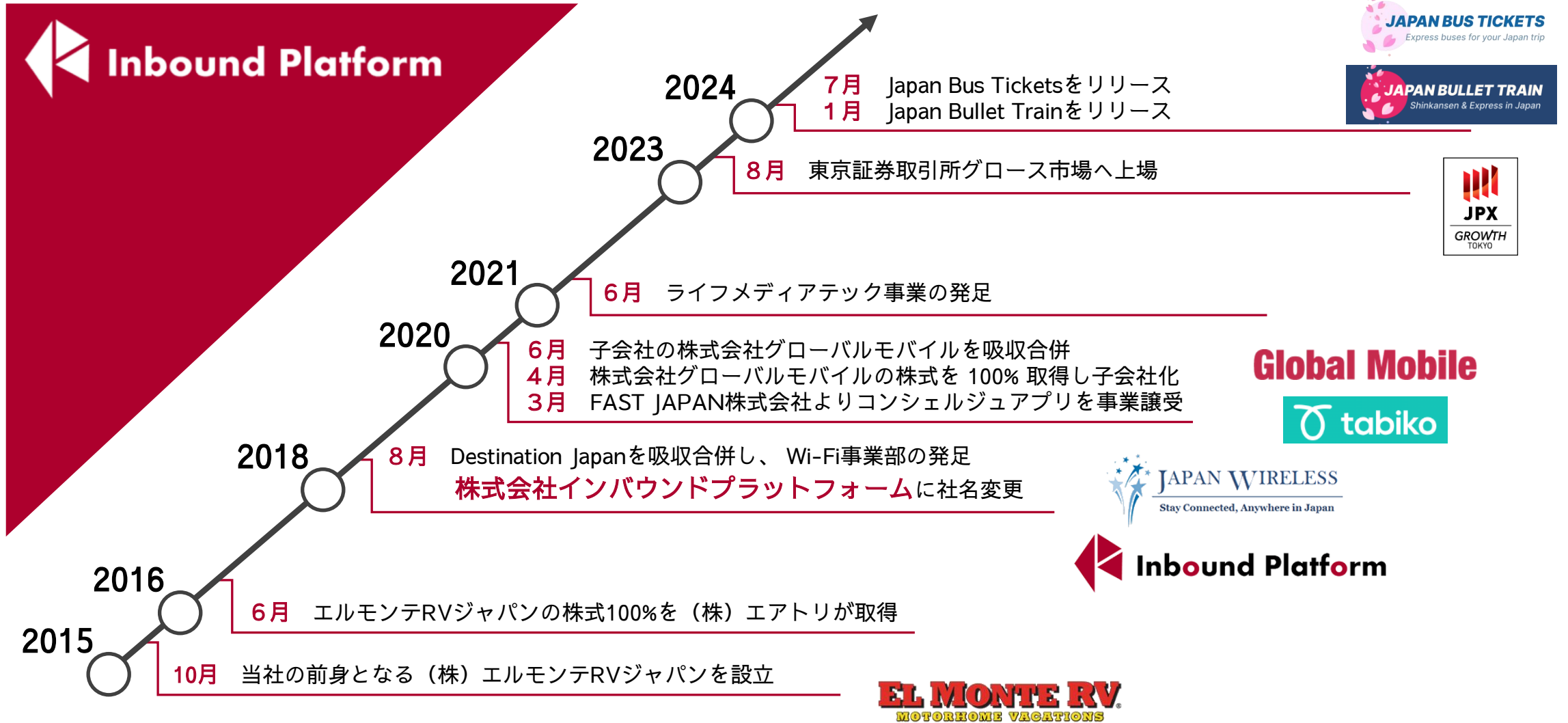
会社名	株式会社インバウンドプラットフォーム
設立	2015年10月
所在地	東京都港区新橋六丁目14番5号
従業員数	84名（2024年6月末時点）※アルバイト含む
株式市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：5587）

経営陣	王 伸	代表取締役社長 / CEO
	武原 等	取締役
	古我 知史	社外取締役
	菅原 洋	社外取締役
	宇尾野 彰大	社外取締役
	宮川 竜一	監査役
	生田目 克	監査役
三神 拓也	監査役	

事業内容	訪日旅行事業 （国内・海外用のWi-Fiレンタル、Webメディア運営、 訪日・在留外国人向け生活関連サービス、キャンピング カーレンタル等）
------	---



# 沿革



## 役員紹介



### 王 伸 / 代表取締役社長 CEO

慶応義塾大学経済学部卒業後、税理士法人トーマツ及びKPMG税理士法人にてコンサルティング事業に従事。2014年11月に株式会社エボラブルアジア（現：株式会社エアトリ）入社、経営企画室室長、執行役員、取締役COOを歴任。2018年8月当社代表取締役社長に就任。



### 武原 等 / 取締役

1993年株式会社アップルホテルズ（現：株式会社アップルワールド）取締役就任。2014年7月同社常務執行役員に就任。2015年10月に当社を創業し、代表取締役社長に就任。2018年8月当社取締役就任、キャンピングカー事業を牽引。



### 宮川 竜一 / 常勤監査役

東北大学法科大学院卒業後、2015年12月に弁護士登録、その後は法律事務所に勤務。2018年12月、当社常勤監査役就任。

# 数字で見るIPC

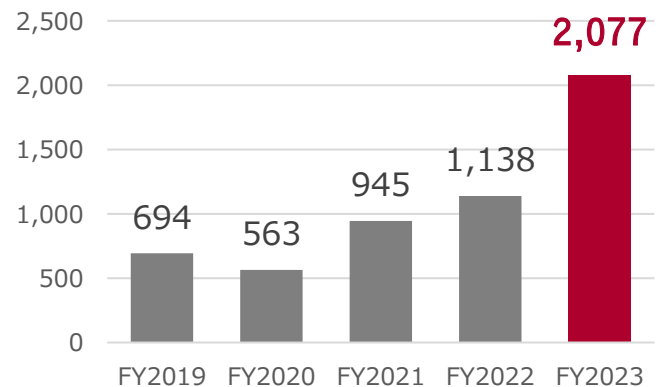
2015年10月創業より

**9** 期目

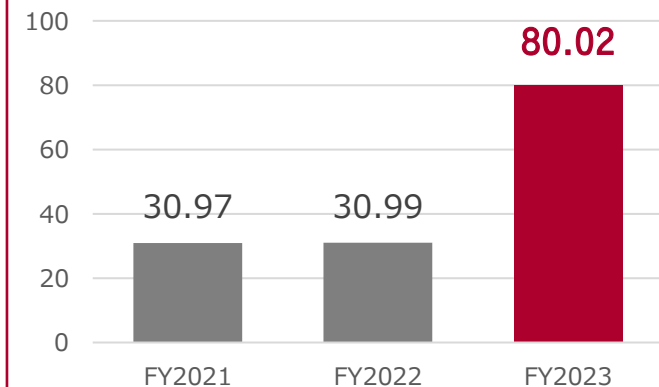
従業員数  
(2024/6末時点)

**84** 人

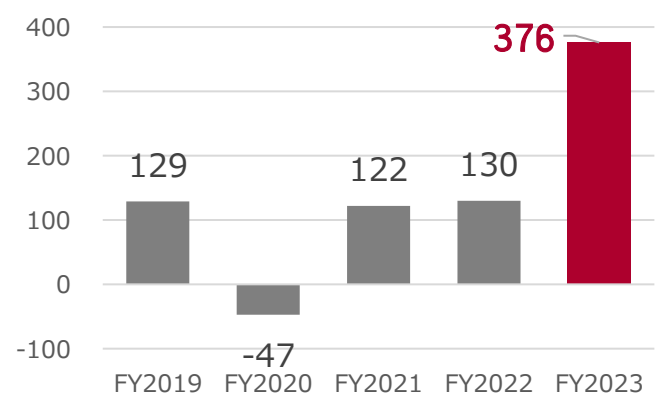
売上高 (単位：百万円)



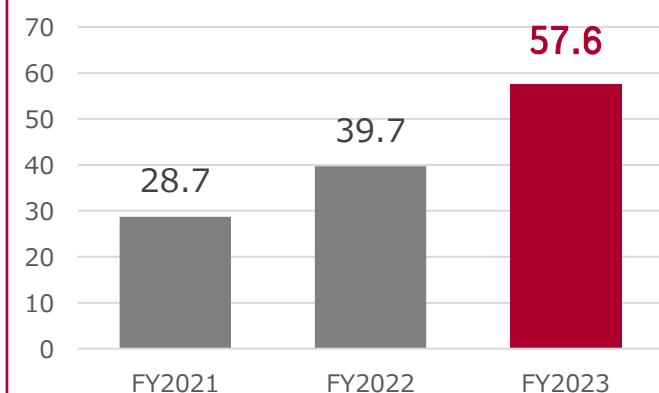
1株当たり純利益 (単位：円)



経常利益 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：%)





## 〈 将来見通しに関する注意事項 〉

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。
- 通常予測し得ないような特別事情の発生、または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

## 〈お問合わせ〉

株式会社インバウンドプラットフォーム  
経営管理部 IR担当

[ir@inbound-platform.com](mailto:ir@inbound-platform.com)

[www.inbound-platform.com/ir/form/](http://www.inbound-platform.com/ir/form/)



**Inbound Platform**

また来たい、日本

Make people from all over the world *Love This Country.*